

平成 27 年 12 月 22 日

北海道新幹線開業に向けた取り組みについて (異常時対応訓練の実施・避難誘導設備の増強)

2016年3月26日の北海道新幹線開業に向けて、当社では今後、異常時対応訓練を実施するとともに、青函トンネル内の避難誘導設備の増強に取り組んでいます。

I. 新幹線における異常時対応訓練

◎新幹線に即した訓練の充実

1 日常起こりうる異常時対応訓練の取り組み

- ・乗務員を対象とした車両、列車内におけるトラブル対応
- ・駅係員を対象としたホーム、駅構内におけるトラブル対応

2 お客様の避難誘導を想定した、総合実設訓練の取り組み

- ・高架上、トンネル内における消防・警察との連携訓練
- ・新幹線に即した避難誘導マニュアルの検証

II. 新幹線に開業に向けた青函トンネル避難誘導設備増強

- 1 定員増加に合わせた定点避難所設備増備
- 2 陸底部の避難所・非常放送設備等の設置
- 3 定点避難所でのお客様通信手段確保
- 4 斜坑ケーブルカーの定員増

I . 新幹線における異常時対応訓練

1. 日常起こりうる異常時対応訓練の取り組み

○訓練の主な内容(H27年9月以降実施中～)

(1) 地上設備、車両設備のトラブル

・ホーム柵が開かない ・ATC信号が受信できない

(2) 車内、ホーム上での旅客に関するトラブル

・車内でSOSボタンが押された ・柵を越えての駆け込み乗車

(3) 線路上への飛来物、雪害によるトラブル

・架線にビニールが巻き付いている ・ポイント不転換対応

(4) ヒューマンエラー後の対応

・停止位置を越えてしまった

I . 新幹線における異常時対応訓練

2. 新幹線に乗車されているお客様の避難誘導を 想定した総合実設訓練の取り組み

1. 高架上における、警察・消防との連携訓練

- (1) 日時・場所：平成28年1月15日 日中 新函館北斗ー木古内間
- (2) 訓練想定：地震により停電となり新幹線が高架上で停止
- (3) 訓練内容：警察・消防と協力し、お客様を高架上から避難させる

2. 青函トンネル内での異常時避難誘導訓練

- (1) 日時・場所：平成28年2月 夜間(作業時間合い) 青函トンネル内 (3回計画)
- (2) 訓練想定：車両トラブルを想定し、救援列車への移乗訓練
- (3) 訓練内容：新幹線特有の救護方法による訓練を実施する

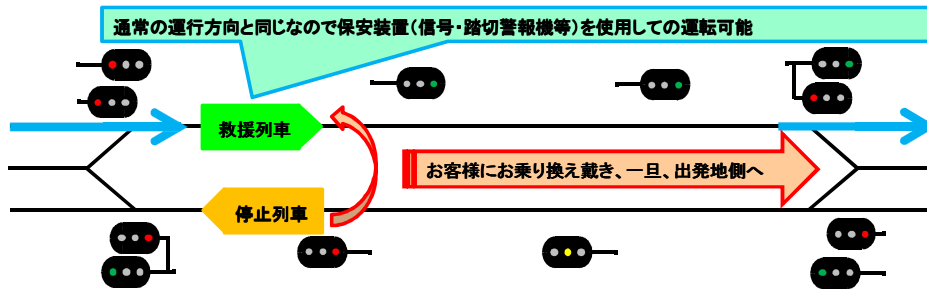
<新幹線特有の救護方法>

- ①救援列車を横付けして、渡り板で移乗できる設備が設置されている
- ②救援列車は、逆線においても順線同様の保安システム(RS-ATC)で安全・迅速に運転できる

新幹線と在来線の救援列車運行方法の違いについて

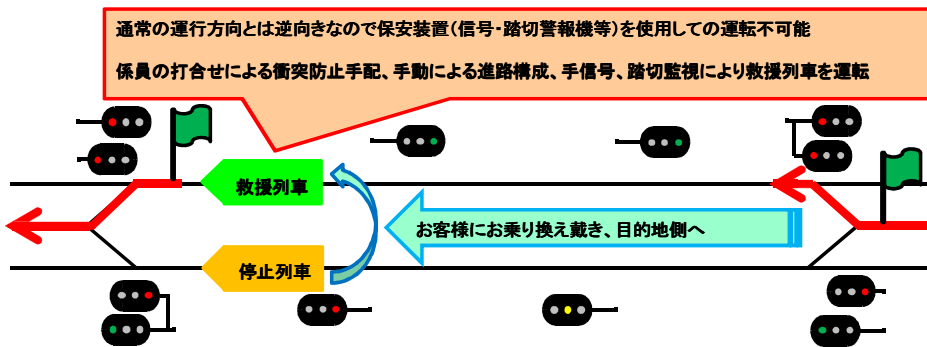
1. 在来線の場合

① 救援列車の運転(通常の運転方向と同じ場合)



- 車両・乗務員の手配が可能であれば、比較的容易に救援列車の運行が可能
- お客様は、一旦、出発地側にお戻り戴き、「停止列車」の運転再開後に目的地へご案内

② 救援列車の運転(通常の運転方向とは逆向きの場合)

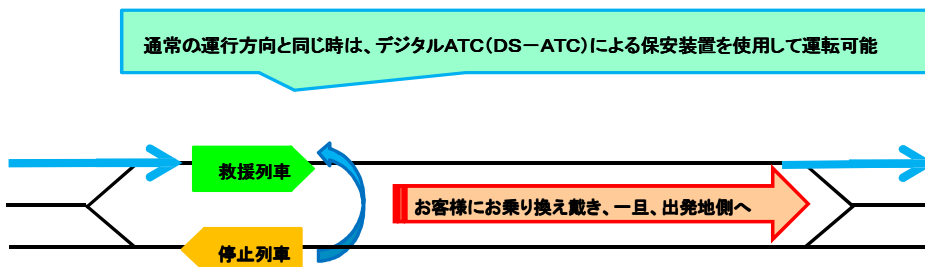


- 車両・乗務員の手配の他、保安装置に代わる係員の手配、準備に時間を要する
- お客様は、救援列車にお乗り換え戴き、目的地へご案内

新幹線と在来線の救援列車運行方法の違いについて

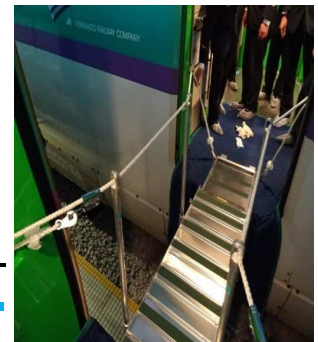
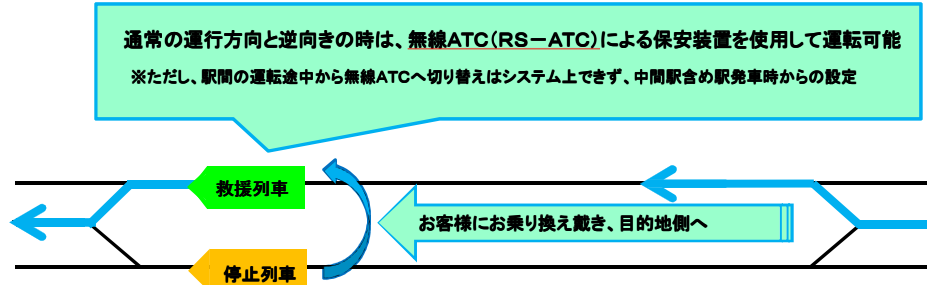
2. 新幹線の場合

① 救援列車の運転(通常の運転方向と同じ場合)



- 車両・乗務員の手配が可能であれば、救援列車の運転方向に拘わらず、比較的容易に救援列車の運行が可能
- お客様が停止列車から救援列車へお乗り換えされる際には、車両に搭載されている非常はしごを活用した渡り板を設置
- お客様は、渡り板を通して救援列車にお乗り換え戴き、目的地へご案内

② 救援列車の運転(通常の運転方向とは逆向きの場合)



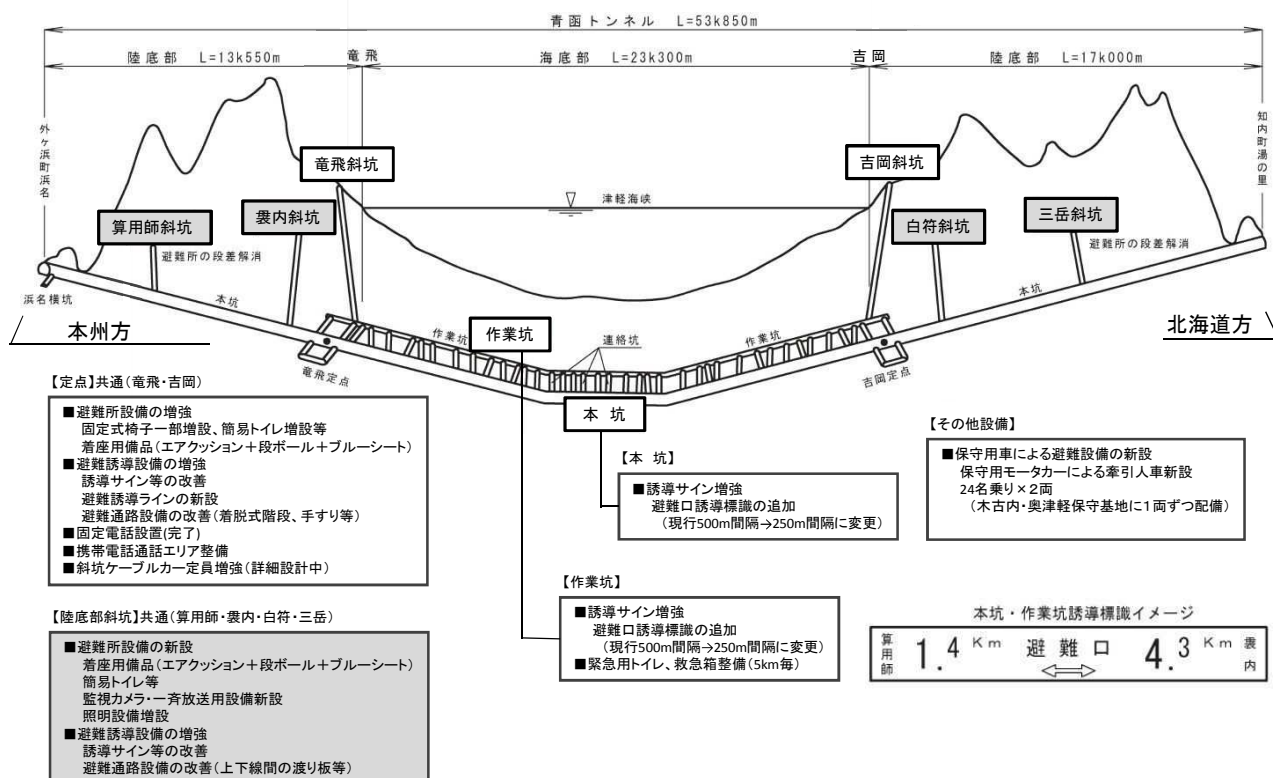
平行移乗

Ⅱ. 新幹線開業に向けた青函トンネル避難誘導設備増強

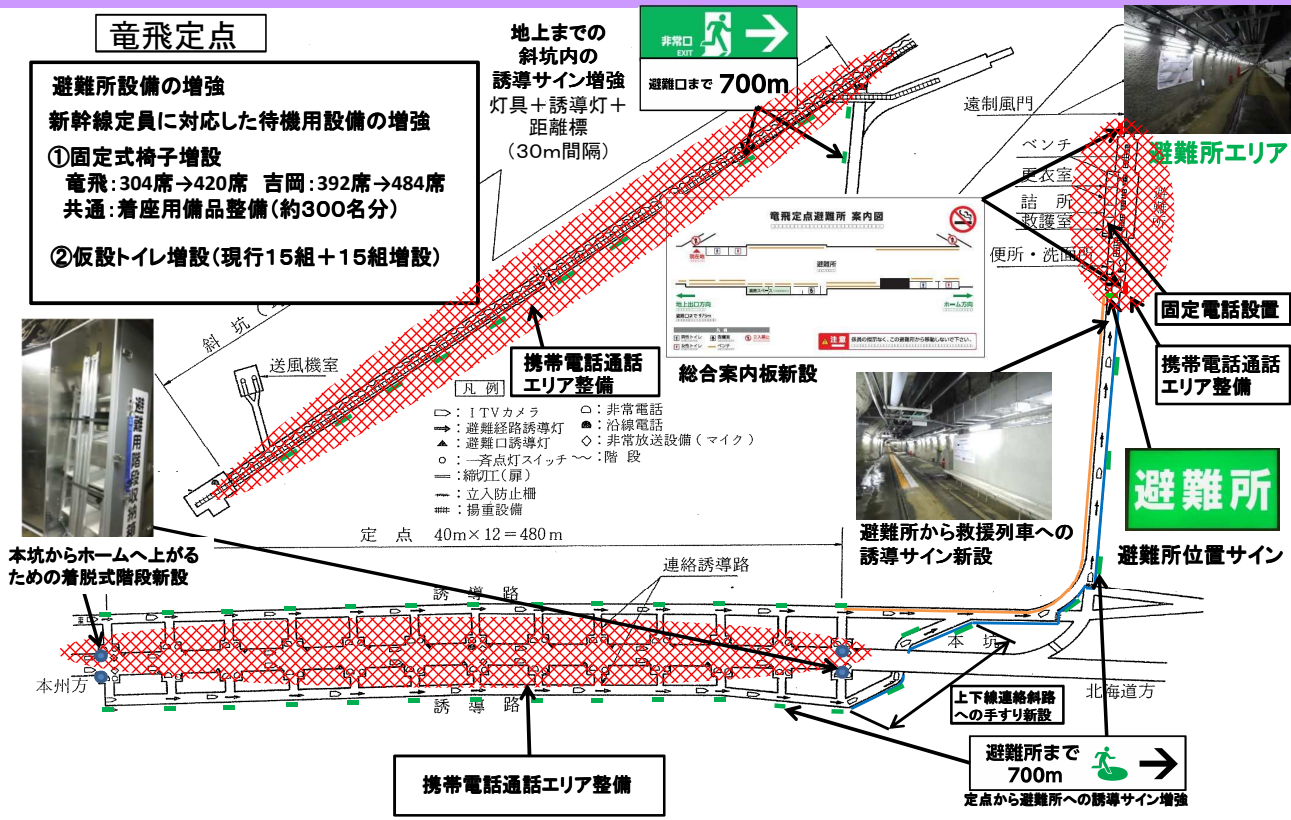
○避難誘導設備増強内容

- 1 定員増加に合わせた定点避難所設備増備
- 2 陸底部の避難所・非常放送設備等の新設
- 3 定点避難所でのお客様通信手段確保
- 4 斜坑ケーブルカーの定員増

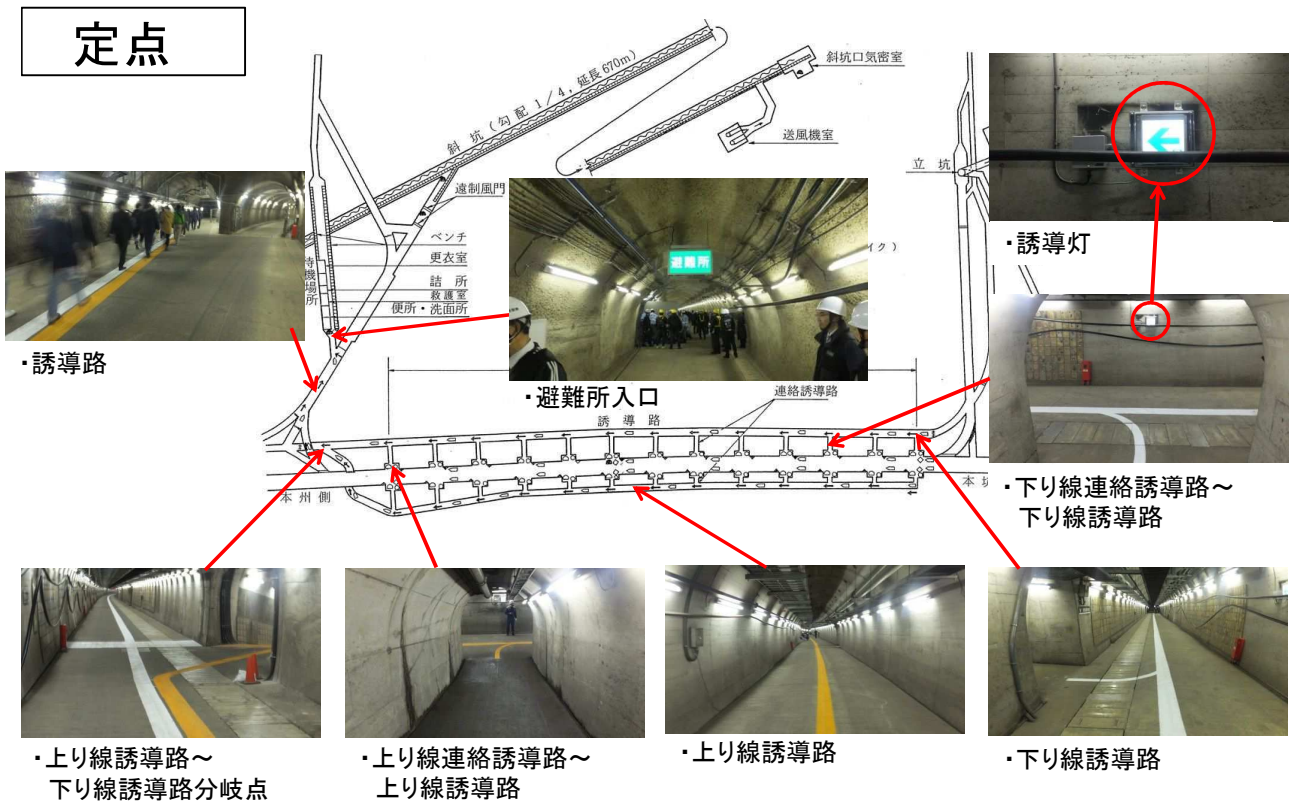
青函トンネル内 2つの定点と4つの陸底部斜坑



定点付近避難設備増備内容

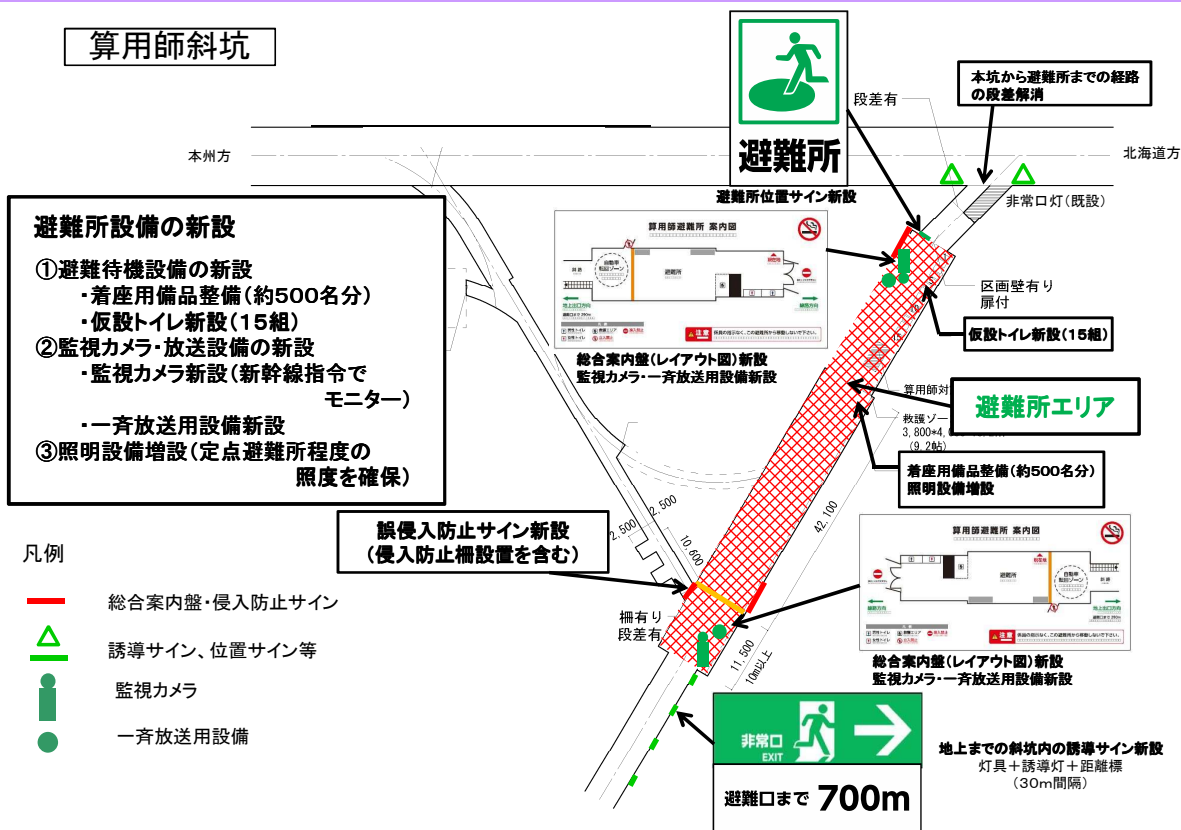


定点付近避難設備(避難誘導ライン表示)

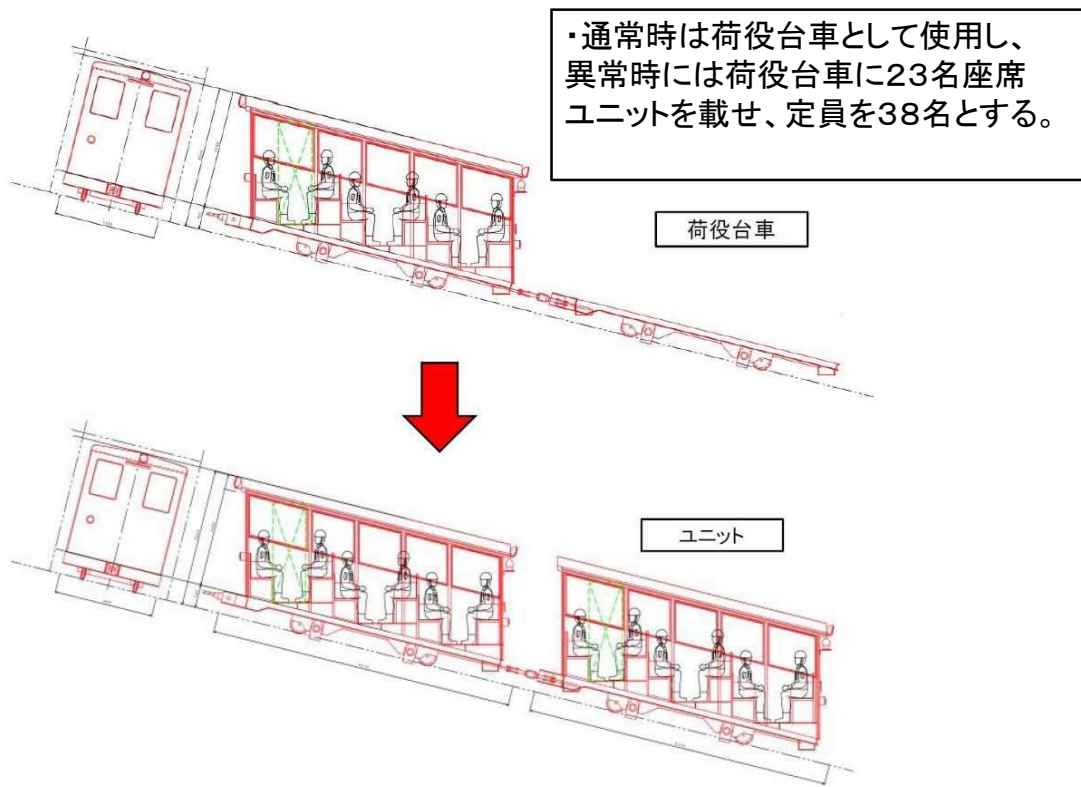


陸底部斜坑避難設備の整備

算用師斜坑



斜坑ケーブルカーの定員増



保守用車による避難設備の新設

○保線用モーターカーでの牽引人車新設

・24名乗り×2両（木古内・奥津軽保守基地に1両ずつ配備）

